

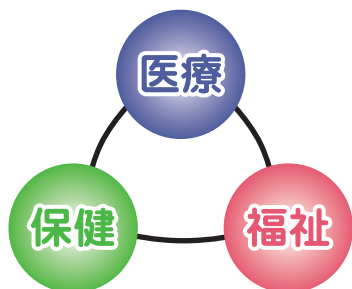
ふれあい 第52号



医療法人 社団 創健会

広報誌

発行：2024年4月



基本理念

「ふれあいと健康をもとめて」

基本方針

1. ころとこころのふれあう保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供します
2. それぞれのニーズに応じた健康の保持増進に貢献します
3. 地域に開かれた信頼される施設づくりに努めます



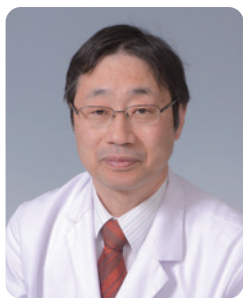
ソバの花：花言葉は「あなたを救う」

日本医療機能評価機構 一般病院1
機能種別版評価項目3rdG:(Ver2.0)
認定の医療機関です



目次

- ・2024年度に向けて…………… P2
- ・衛生委員会…………… P3
- ・新たな仲間を迎えました…………… P4
- ・リハビリテーション部ご案内…………… P4
- ・看護部だより…………… P5
- ・職域・地域での健康づくり…………… P5
- ・地域連携課だより…………… P6
- ・あけぼの通信…………… P6
- ・介護医療院宇賀の里つばさだより『ほのぼの』…………… P7
- ・～介護医療院つばさ 通所リハビリテーション～…………… P7
- ・栄養だより…………… P8
- ・写真部よりこんにちは！…………… P8



2024年度に 向けて

理事長 内藤 篤

2019年12月、中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎が新型コロナウイルス感染症であると報告されました。その後全世界に拡がり2023年3月10日における累積感染者数は6億7657万149人、累積死者数は688万1802人、日本では2020年1月15日、初の感染者（中国からの帰国者）が確認され、2023年3月10日に累積感染者数は3332万438人、累積死亡数は7万2997人と報告されました。ワクチン、抗ウイルス薬の開発がなされ、世界的な規制緩和により、日本では2023年5月8日より感染症2類から5類に扱いが変更となりましたが、コロナウイルスの変異は早く感染力は衰えていません。2023年の夏以降は様々な規制が緩和され、外国からも大勢の観光客が日本を訪れています。その中でコロナ感染者数は増加しており、この松江圏域でもいまだに高齢者施設・医療機関でクラスターの報告がなくなることはありません。また、コロナ2類で外出規制・感染対策が徹底していた2020～2022年にはほとんど流行していなかったインフルエンザが2023年9月以降猛威を振るっています。引き続き感染症に対する予防の徹底が求められます。

2024年の診療報酬改定は、医療・介護・障害福祉サービスについての6年に1度のトリプル改定となります。団塊の世代が後期高齢者となり医療・介護サービスが急増する「2025年問題」のみならず、生産年齢人口減少・社会保障費の増大・インフラや公共施設

の老朽化・第2次ベビーブーム世代が65歳を超え65歳以上の人口が35%となり更に医療・介護サービスが増加する「2040年問題」を見据えたものになります。また、国は「生涯現役社会」をスローガンに高齢者が働きやすい社会づくりを目指しており、これに対応するサービス提供も盛り込まれるものと思われます。

2014年6月に制度化された「地域医療構想」は、2025年が最終年で松江圏域においても各医療機関の役割分担がはっきりとしてきました。松江記念病院は、在宅支援・急性期病院の後方支援病院として、誤嚥性肺炎を中心とする高齢者の急性期～亜急性医療、地域包括病床における高齢者リハビリテーションに加え、急性期病院・介護施設が担わない高齢者の看取り期への対応を介護医療院「宇賀の里つばさ」とともに行います。また、介護老人保健施設「ナーシングセンターあけぼの」を中心にリハビリテーションを提供し、高齢者の「生涯現役」を可能にしていきます。また松江記念病院の健康支援センターにおいて、当法人開設以来の予防医療としての「人間ドック・健診」に更に力を入れ、外来では引き続き糖尿病を中心とする生活習慣病外来をより充実させていきます。

これからの1年、創健会全職員心を一にして「ふれあい、よりそうケア」を実践すべく頑張ります。今後ともご指導よろしく願います。

最後になりましたが、虎党の一人として、18年ぶりのセリーグ制覇（アレ）、38年ぶりの日本一（アレのアレ）を達成した岡田彰布監督率いる阪神タイガースが今年も最高の結果（アレンパ）を出せるようにしっかりと応援していきたいと思えます。

衛生委員会

衛生委員会は、労働安全衛生法に基づき、一定の規模に該当する事業場では設置しなければならない委員会です。当病院においても衛生委員会を設置し、従業員が心身ともに健康保持増進ができるよう、職場の衛生環境づくり活動をおこなうことを目的に活動しています。具体的活動内容としては大きく3つあります。① 定期的な職場巡視 ② 委員会の開催 ③ 研修会の実施です。職場巡視は、毎月委員が各部署を巡回し、作業環境管理(温度・湿度、照度、騒音、整理整頓などは適切か)、作業管理(休憩時間、作業姿勢などは適切か)、健康管理(体調不良者などがいないかなど)の3つの視点で状況調査を行います。そして毎月1回委員会を開催します。職場巡視の状況調査に加え、従業員の時間外労働、労働災害、交通事故の状況の確認、従業員からの要望などを聞き、従業員の健康障害の防止や健康の保持増進を図るための対策を審議しています。例えば、新型コロナウイルス感染症に関する対応などにより、時間外労働時間が増加傾向にある従業員の情報を管理職へ提供するなど、従業員の業務量の調整や業務改善に取り組んでもらう必要性を伝えています。また、従業員を対象にメンタルヘルスケア、腰痛予防、受動喫煙対策に関する研修会も定期的に行い、従業員が自分で健康管理を行えるよう、知識や技術を情報提供できる機会をつくっています。厚生労働省の2022年国民生活基礎調査によると、たばこを吸う人の割合は男性で25.4%、女性で7.7%ですが、当法人の従業員においては男女平均7.0%で、5年前と比較しても4.8%減少しておりと健康管理の意識が高まっているものと思われます。

このように当委員会の活動は、主に従業員に向けての活動であるため、利用者の皆さまへのサービスに直接関わる部分ではありませんが、実際にサービスを提供している従業員の心身がより健康であることが、より良いサービスの提供に繋がると考えています。

当法人は、「ふれあいと健康をもとめて」という理念を掲げています。地域の皆さまの健康はもちろんのこと、従業員の健康も重要です。当委員会は、今後も従業員の健康の保持増進を支えることで、地域の皆さまの健康の保持増進に貢献できるよう、引き続き活動していきたいと思っております。

委員長 内藤 篤
副委員長 岩宮 弘史



新たな仲間を迎えました



真っ白な白衣に袖を通し、初々しい面持ちで出勤一日目を迎えた新入職員。

今年度は総勢18名が新たに仲間となりました。

2日間の新入職員オリエンテーションを経て、各部署の先輩たちの指導の下、たくさんの知識と経験を積み、「ふれあい・よりそうケア」を实践すべく日々奮闘しています。

創健会の一員として、皆様に寄り添い、よりよいサービスを提供できるよう、共に頑張っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



リハビリテーション部ご案内

リハビリテーション部は幅広い分野に多くの専門職員(31名)を配置し活動しております。保健分野においては、ヘルスケアトレーナーの資格を取得し、特定保健指導や人間ドック・健診にも従事しており、生活スタイルや身体機能に応じた運動指導を行って予防医療の活動も行っています。

医療分野では、松江圏域の地域包括システムにおいて後方支援病院としての役割を担い、入院早期から在宅復帰に向けた具体的な目標と達成時期予測を多職種で共有し、結果を出せるリハビリテーションの展開に力を入れています(※令和5年度目標達成率は89%)。一方で、人生の終末期における「食べること」へのご要望に対しても、最期の時を迎えられる直前まで、専門職員が関連職種と連携しながら対応する取り組みも行っています。

福祉分野では、医療から介護へ「繋がるリハビリテーション」を意識し、複数の介護保険事業所にて利用者のニーズに応じた入所リハビリテーション、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションを展開しています。

今後も地域の中で「こころとこころのふれあう総合的なサービス提供」の一翼を担うべく、リハビリテーション部一同、引続き精進して参ります。

リハビリテーション部 若林 祐太

看護部だより

居宅介護支援事業所かけはし TEL0852-22-7500

居宅介護支援事業所かけはしでは、ご自宅で生活される要支援、要介護の認定を受けられた方が適切に介護保険サービスを利用できるよう、介護認定の申請の手続きから介護サービスの利用に係わる相談・支援を行っています。ご本人、ご家族の希望と心身の状況やおかれている環境をふまえ、可能な限りご本人の望む生活が送れるよう、ご本人、ご家族と一緒に考え、必要なサービスの計画を作成します。月に1回は、ご自宅を訪問し、ご本人の心



身の状態やおかれている環境に変化がないか、ご本人、ご家族の希望にお変りはないか、利用しているサービスに満足されているか等継続的にモニタリングを行います。

また、計画に基づいた適切なサービスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡調整を行います。

まずは相談だけでもかまいませんので介護認定を受けられる前でも、お気軽にお電話ください。

居宅介護支援事業所かけはし 田村 相子



職域・地域での健康づくり

《事業所向け健康管理セミナーを開催しました》

健康支援センターでは、人間ドック健康診断、地域のがん検診とともに、働く方々のための健康支援をおこなっています。2023年12月8日松江記念病院にてオンライン会議システムを利用しハイブリッド形式で事業所の健康管理担当の方を対象としたセミナーを開催しました。5回目となる今回は働き盛り世代のがん対策～職場と健診機関・医療機関の連携をテーマに、大腸がん検診、膵がん、肝がんを早期発見するための注意点、受診勧奨のあり方などを取り上げました。参加くださった方々よりがん検診を理解し職場でも適切な声かけ、支援をすることで早期発見につながり、がんに罹患しても健康で働くことができることがわかり参考になったとの声をいただきました。今後も皆様のお役にたてるようセミナー等を利用し情報提供していきたいと思えます。

予防医療部 内藤 潤美

若年性認知症相談窓口について

認知症は一般的に高齢者に多い疾患ですが、65歳未満で発症する認知症を若年性認知症といいます。

2020年3月の調査結果(厚生労働省調べ)によると、全国の若年性認知症の方は推計35,700人であり、高齢者の認知症に比べるとかなり少ない数字といえます。しかし若年性認知症の世代は働き盛りであり家庭や社会を支えている世代であるため、病気になると仕事に支障が生じ、周囲に与える影響が大きいという特徴があります。仕事でミスが目立つようになった、家族としてどう接して良いかわからない等本人・家族・職場が様々な不安を感じる場面が生じます。若年性認知症に関する県内の総合相談窓口として、しまね若年性認知症相談支援センターがあります。また市役所や地域包括支援センターも相談窓口になっており、相談に対し助言等を行っています。

専門機関に相談したいが、どうしたら良いかわからない等ございましたら地域連携課までご相談ください。

当法人では、住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、今後も地域の課題に向き合って取り組んでまいります。

あけぼの通信

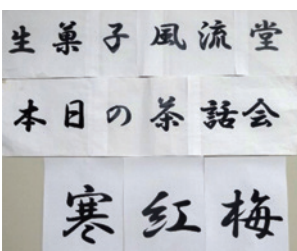
～茶話会サークル～

風流堂から提供された和菓子を楽しみに、現在23名の方が参加しています。

1月は、積もる雪から覗く梅の花を表現された「寒紅梅」という和菓子でした。

「かわいらしいですね。」「おいしい和菓子ですね。」と会話も弾み、笑顔がこぼれていました。

介護老人保険施設 ナーシングセンター あけぼの 看護介護部
佐藤 直美



介護医療院
宇賀の里つばさだより



ほのぼの

毎月、誕生月を迎えられた利用者様をお祝いする誕生会を開催しています。誕生者の方へは、ささやかながらお祝いの気持ちとして職員が作成したアルバムをお渡ししています。レクリエーションや和み会、リハビリテーション等の際に撮影した思い出の写真を納めたアルバムを手元にして皆様大変喜んでくださいました。

誕生会にあわせて職員が企画したレクリエーションも楽しんでくださり、1月には昔を懐かしんでもらおうと福笑いを行いました。目や鼻の位置を試行錯誤しながら、おかめやひょっとこの顔に貼り付けていき、出来上がる



と周囲に大きな歓声や笑い声が響き渡っていました。

介護医療院宇賀の里つばさでは、利用者様に季節を感じて頂ける内容や昔に戻って楽しんで頂ける内容のレクリエーションを積極的に企画しています。利用者様がいつも笑顔で過ごして頂けるようにこれからも取り組んで参ります。

介護医療院 宇賀の里つばさ 看護介護部
空先 好範

～介護医療院つばさ 通所リハビリテーション～

通所リハビリテーションは主にリハビリテーションや入浴を目的とし、ご自宅や施設から通われ一日を過ごされています。その他に、体操やレクリエーションなどを行い、一日の時間を有意義な時間が提供できるよう努めています。レクリエーションでは職員と一緒に作品作りも行っており、壁画作成に取り組んでいます。



壁画のテーマ「椿と水仙」

壁を大きなキャンバスと見立てて、季節に合わせて一つの作品を作っています。細かい作業もありますが、完成したのを見ると嬉しくなりしばらく鑑賞される方もいらっしゃいます。左の写真は今冬に作成した作品です。

介護医療院 宇賀の里つばさ
通所リハビリテーション看護介護部
安達 美穂子



栄養だより



暖かな風が吹き、過ごしやすい季節となりました。
今回は、この時期が旬の「スナップエンドウ」を使った春らしいレシピをご紹介します。



※写真はイメージです

スナップエンドウの菜種和え

★材料(2人分)★

- | | | |
|---------------|-------------|-----|
| ●スナップエンドウ…80g | ●薄口醤油…小さじ1 | } A |
| ●卵…60g | ●みりん…小さじ1/2 | |
| ●塩…50g | | |
| ●油…40g | | |

★作り方★

- ① スナップエンドウは筋を取って湯を沸かした鍋で茹で、斜め半分に切る。
- ② 卵に塩を入れてよく溶き、油を熱したフライパンで炒り卵を作る。
- ③ ②の粗熱が取れたら①と合わせ、Aを加えて混ぜ合わせる。

管理栄養士 曳野 優美



「写真部よりこんにちは！」

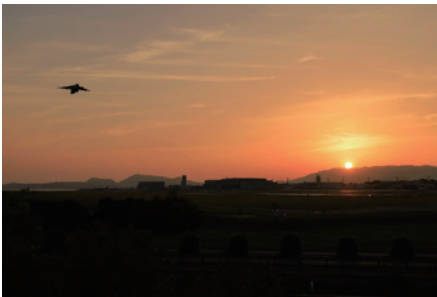
写真提供 坪倉 誠様



季節の風景

米子空港

23年4月撮影



米子鬼太郎空港では季節と日の入りの時間によって、飛行機の発着と夕日を見ることが出来ます。

邑南町

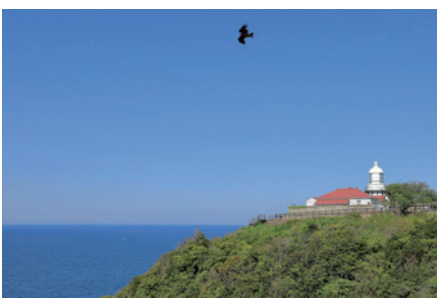
23年4月撮影



天国に一番近い里と自称される邑南町の川角地区です。2000本以上の花桃の木が植えられており、わずかな開花期間の間にたくさんの人が桃源郷を楽しみに来訪します。

美保関町

23年4月撮影



美保関町は灯台とつつじが有名です。晴れ渡った日には広大な海のパノラマの向こうに、隠岐の島や大山を望むことが出来ます。

安来市荒島町

23年4月撮影



荒島町にある古代出雲王陵の丘は、古墳だけでなく桜の名所としても有名です。桜の時期にはたくさんの人々と鳥たちが集まり、タイミングが良ければ桜の額縁に彩られた冠雪した大山も眺めることが出来ます。

編集後記

新しい年度が始まりさまざまな事が変わります。私達の職場では診療報酬、介護報酬の同時改定があり忙しいスタートとなりました。

また7月には、日本紙幣が新札に変わります。新札に変わる公の目的は「偽造防止」だそうです。そしてこの機会に注目されるのが「タンス預金」です。現在30兆円～80兆円と言われ、新札になることでタンス預金を引き出し消費していただく目的の一部ではあると噂されています。

経済が活性化し景気の良い年度になればよいですね。

広報委員長 戸川 幸輝

編集・発行

松江記念病院 広報委員会

連絡先: 〒690-0015 松江市上乃木3-4-1

電話: 0852-27-8111(代)

ファックス: 0852-27-8119

松江記念病院 / 松江記念病院内 健康支援センター

介護医療院 宇賀の里つばさ

介護老人保健施設 ナーシングセンターあけぼの

訪問看護ステーション あゆみ

居宅介護支援事業所 かけはし

